

### <2月の予定>

◎稽古時間： 木曜日・・・17:00～19:00  
土曜日・・・15:00～17:00

- 3日(土) ※駒場体育館が使用できないため、稽古場所は**大宮武道館**になります。
- 17日(土) 13:30～15:00 新現役員顔合わせ会(駒場体育館 2F会議室)
- 24日(土) 月例試合稽古
- 未定 少年強化練習会 ※対象者のみ

### <3月の予定>

◎稽古時間： 木曜日・・・17:00～19:00  
土曜日・・・15:00～17:00

- 3日(土) 平成29年度後期昇級審査会(駒場体育館 剣道場)
- 24日(土) 平成29年度浦和少年剣道錬成会(駒場体育館)
- 31日(土) 13:00～17:00 6年生を送る会(駒場体育館 剣道場)  
19:00～22:00 6年生の保護者を送る会  
※夜の修道館のお稽古はありません。

### <4月の予定>

◎稽古時間： 木曜日・・・17:00～19:00  
土曜日・・・15:00～17:00

- 14日(土) 14:00～15:00 剣道教室第1回受付(駒場体育館 2F会議室)  
一級審査会 合同稽古会(大宮武道館)
- 21日(土) 14:00～15:00 剣道教室第2回受付(駒場体育館 2F会議室)
- 未定 第6回さいたま市剣道大会(大人の大会 大宮武道館)

#### ◎平成30年度 剣道教室を以下の日程で開催します◎

期 間： 5月12日(土)～6月30日(土) 13時～15時 ※毎週土曜日 計8回  
場 所： 駒場体育館 剣道場  
募集学年： 小学2年生～6年生

※お近くに興味がある方がいらしたら、ぜひお声がけください！！

こまけんだよりは公式サイトでもご覧いただけます。是非カラーでもお楽しみください♪

<http://www.geocities.jp/KomabaKenhp/index.html>

# 本荘先生からのお言葉



このところずっと寒い日が続いています。2月になりました。この1か月、早かったですね。2月も28日しかありませんので、すぐに3月がやってきそうです。6年生にとっては駒剣最後の2か月になります。悔いの残らぬよう1回1回の稽古をしっかりといていねいにやっていきましょう。5年生以下も同じです。先輩と一緒にできるのはあとわずかです。なるべく稽古を休まず、積極的に先輩に掛かっていきましょう。

さて、12月、1月と2か月間行ってきた『駒剣寒稽古』が無事終了しました。おつかれさまでした。みんなよくがんばりました。ですが、それぞれに振り返ってみてください。どれだけ自分で「がんばれた」でしょうか。同じ時間同じ場所にもその取り組み方で差が出ます。ランニングでも少しペースが遅くなると歩いてしまう人がいました。基本打ち、早くに面をつけて先生に掛かる人がいる中、もたもたして始められない人もいました。切り返し、掛かり稽古と意欲的に前へ前へと走って動いている人と、人の後ろにつきたがり「壁の花」を好む人、当然差が出ます。我々にもよく見えますが、それは自分自身が一番わかっていることだと思います。弱い面がすぐに出てきてしまう人はこれからの稽古で少しずつでも直していきましょう。

27日(土)千秋楽の終わりの礼式でこんな話をしました。「寒稽古を終えてこれからの稽古に臨むにあたって2つ。1つは中心を外さないこと。中心を大事にすること。中心を外して(ずらして)打突しても反則ではないが、そればかりやっていると絶対に強くはなれない。もう1つは体全体を使って打つようにすること。鳳翔剣大会を見ても腕だけで、手先だけで当てようとしている者がいる。そういう剣道では当然気迫・迫力が感じられない。判定になって旗が上がるわけがない。この2つを意識して稽古していこう。」

もう1つ別の話を。「今日をもって初心者組の赤たすき(初心者マーク📌)をはずします。初心者卒業です。うれしいかもしれないけど、これからは簡単に紐がほどけたり、面つけが遅かったりなんてことは許しませんので。心して稽古に臨んでください。」先生方、ご指導よろしくお願ひいたします。



あわせて15日間の埼玉大学剣道部寒稽古、こちらもたいへんおつかれさまでした。先月号でも書きましたので繰り返しません、駒剣士、本当によくがんばっていました。ただ朝そこに行っているというのではなく、自分の意志、意欲があり率先して稽古していました。12日(金)恒例となった「千秋楽 駒剣緑たすきの儀」では、小学生、大人だけでなく中学・高校生も駒剣関係者は緑たすきをつけたので、その人数の多さに驚きました。



21日(日)に開催された「第38回鳳翔剣大会」では、キャプテンの飯田君が何回か勝って気を吐いていました。OBでは、市立川口高校の渡邊先輩が3位に、埼大附属中の齋田先輩がベスト8と健闘していました。今回の試合では、力を出し切らず終わってしまった人もいたようです。寒稽古で拾った宝物、いつかどこかでポケットから出てくるといいですね。

27日(土)28日(日)には、さいたま市の中学校冬季大会が大宮武道館で行われました。男子では本太中がベスト8(5位入賞)に。女子では大原中が3位に、原山中がベスト8(5位入賞)にがんばりました。本太中は、スキー実習で2年生がおらず1年生のみでの参加でしたが、勝負強さを見せ勝ち上がりました。女子は、大原中と原山中が準々決勝で対戦し、加藤先輩と松本先輩が先鋒戦で直接対決となりました。個人の勝負は松本先輩が征しましたが、団体の勝利は大原中がとるということに。勝ち上がって同門対決(切磋琢磨できる)なんて羨ましいですね。

駒剣6年生がぐっと成長しているのを感じるのは毎年のことですが、最近5年生も先輩に負けないやる気を見せることがありハッとさせられます。大変いいことです。来月は錬成大会が控えています。ホーム駒場体育館での開催です。これから春に向けて駒剣全体で大いに盛り上げていきましょう。

# 新ジャイアのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

あっという間に1月が終わっちゃったな。みんなは、今年のスタートの月をうまく過ごせたかな？

ジャイアンは、ちょっとダメだったな。仕事はためちやうし、カゼは引いちやうし、稽古数は少なくなっちゃったし……

でも、新しい月になったので、仕切り直して、2月は頑張るぞ！

…と、ここまで書いてきて、試合で相手に一本先にとられた時ににているな？と思っちゃった。みんなも、3本勝負で相手に先に一本とられちゃったことあるよね。その時は、どういう気持ちになるかな？「あつ、やられちゃった。早く取り返さなきゃ負けちやう！」とか、「もう、取り返せないよ。どうしよう。」とか、思ってるんじゃないかな？

ジャイアンも正解は分からないんだけど、「負けちやう、負けちやう」と思っていたら勝てないよな。「おつ。なかなかやるじゃないか。よし、それなら、おれの必殺の面を受けてみる！」とか、「いい気になってまた同じ技で来るに違いない。よし、そこを返してやれ！」とか、そんな風に考えるのが、いいのかもな。それとも、平常心で、新しい試合が始まったつもりで、はじめるのがいいのかな？

剣道では、相手を敬う(うやまう＝尊敬する)ことが大切だけど、そのことと、どういう気持ち(気構え)で剣道をするのかは別のことだぞ。自分の方が剣道が下手だとか、学年が下だとか、級が下だとか、色んな点で相手よりも下だと思っていたら、やっぱり勝てないんじゃないかな。そして、技を出したときも、気持ちが出て打ちが小さくなってしまふんじゃないかな。だから、相手と立ち合った時、気持ちだけでも、相手よりも自分は上なんだ！と思ってやってみたらどうか。

ところで、ジャイアンもまだカゼが治らないんだけど、みんなもカゼやケガで「見取り」している人が多いよな。見取りも稽古だから、ふざけちゃいけないのは当然だよな。でも、考え方によっては、見取りはとても有意義なんだぞ。だって、強い人や弱い人の剣道をじっくり見ることが出来るんだからな。自分が稽古をしていると、回りの人がどんな剣道をしているのかよく分からないよな。だけど、見取りでは、強い人が、どういうタイミングで打っているのか、どんなふうにも足を使っているのか、構えはどうか、打ち方はどうか、どういう打ちが一本になるのか、難しい技(返し技など)をどうやって打ったらいいのか、といった大切なことがいろいろと分かるんだぞ。これは、自分より上の人だけでなく、下の人を見ても勉強になるんだぞ。弱い人とはどこが違うのか、弱い人はどうして一本とれないのか、そして、自分はどうか？

そういうつもりで、先生も含め一人一人を見ていくと、1時間なんてあっという間に過ぎちやうよな。そして、そこで得たものを「やってみる」ことが大切だな。防具を着けて剣道をするだけが稽古ではないんだぞ。「みて、考えて、やってみる」ことも大切なんじゃないかな。

じゃ、またな！



# 太郎の百錬自得



## 第47回

まだまだ寒い日が続きますので、みなさん風邪やインフルエンザにはお気をつけください。埼玉大学の寒稽古、鳳翔剣大会と冬の駒剣恒例行事が着々と過ぎていきます。どれもその一瞬は戻ってこないですから、しっかり記憶に残していきたいものです。

私も試合が始まります。2月は埼玉県都道府県対抗予選会、3月実業団高壮年大会と続きます。試合は、日々の稽古の成果を試す場ですので、納得のいく立会をして、また次からの稽古に活かしたいなと思っています。剣道を勝ち負けだけのつまらないことでやっているのは残念なことだ、と昔の先生がお話していましたが、私も本当にそう思います。

私は、現代剣道には競技としての側面と武道としての側面があると思います。昇段審査や日々の稽古で何を求めていくか、それが武道としての剣道だと思います。攻め合い、相手の崩れを起こす。打突は崩れの確認です。もちろんしっかり打突しなければ剣道ではありませんが、仮に打たれなくても自分が崩れたな、参ったと思うことがあるかと思えます。武道としての剣道ではそこで負けです。このやりとりが奥が深く、剣道の醍醐味です。

そして競技としての剣道です。有効打突の条件は、気剣体一致等々ありますが、極端に言えば、相手の打突部位をしっかり捉えれば一本です。しかも、打たれた、打たれていない、の判断は第三者の審判が行います。ここに現代剣道の落とし穴があると思います。武道的な側面から剣道を修練している人間でも、一本とった、とられた、の落とし穴に落ちやすいのが試合です。ましてや試合が楽しみな子どもたちは特に勝敗に拘泥して一喜一憂するのが当たり前、このまま当たればいくらいで剣道を理解してしまうのが心配です。

しかし思い出してください。武道としての剣道は自分が崩れて打たれたら、負けで相手に感謝、相手が崩れて打たせてもらった、また感謝です。打つ気がなく単に打たれないための防御の構え、試合中の変なタイム、鏢迫り合いの膠着などは本来ありえません。しかし試合となると多いですね。いかに本来の剣道から外れている行為の多いことか。とはいえ、多少でもやらざるを得ないところが試合の悩ましいところです。

いろいろ書きましたが、言いたいことは試合の勝ち負けはさして重要なことではないということ、本当の勝負は自分と相手に崩れたか崩れてないかでやっていきたいということです。

さて、先月の「兵法家伝書」の続きです。先月は、「懸・待の心持ち」でした。今回は「敵をおびき出す術」です。

身と太刀とに、懸待の道理ある事。身をば敵にちかくふりかけて懸になし、太刀は待になして、身足手にて敵の先をおびき出して、敵に先をさせて勝也。ここを以って、身足は懸に、太刀は待也。身足を懸にするは、敵に先をさせむ為也。

要約すると、

体と太刀の関係には、「懸」「待」の道理がある。体は敵に近づけて「懸かる」態勢をとりながら、太刀は油断なく「待」の態勢にしておくことによって、体と足と手で敵に先をとろうとさせるよう誘い出して勝つのである。体は「懸かる」、太刀は「待」である。体を懸かる態勢にするのは、敵に先をとろうとさせるためである。

ということになります。

ちょっと難しいですね。私のつたない解釈では、体も太刀も懸かってしまうと、簡単に相手に打たされてしまう気がしていて、体は懸かる態勢でいつでも攻撃ができるのに、太刀にはその打ち気がにじまないことで、相手は精神状態を追い詰められて、先に打ち出してしまう、そこを捉えて勝つのだ、という意味ではないかな～と思います。

## 平成29年度 埼玉大学寒稽古参加回数

No	小学生会員	回数	師範・成人会員	回数	OB・OG	回数
1	飯田 くん	15	本荘 先生	15	橋本 先輩	15
2	住屋 くん	15	星野 先生	15	村松 先輩	15
3	武笠 くん	15	村松 先生	15	石井 先輩	15
4	俵 くん	15	石井 さん	15	小澤 先輩	15
5	宮島 さん	12	山崎 先生	11	細野 先輩	15
6	佐藤 くん	11	宮島 さん	9	峯 先輩	15
7	今村 さん	11	尾島 先生	8	佐々木 先輩	11
8	飯田(哲)くん	11	新井(孝)先生	6	岡部 先輩	9
9	秋本 くん	9	武笠 さん	5	菊地 先輩	9
10	上岡 くん	8	小澤 さん	5	松本(萌)先輩	9
11	俵(涼)くん	6	長谷部先生	4	内田 先輩	6
12	内田 くん	5	須山 先生	4	長谷部 先輩	4
13	寺島 くん	4	齋田 先生	4	加藤(遙)先輩	4
14	上岡(直)	4	福島さん	4	川島 先輩	4
15	渡邊 くん	3	清水 先生	2	齋田 先輩	3
16	橋本 くん	3	渡辺 先生	2	谷口 先輩	3
17	林 くん	3	齊藤(緑)さん	2	松本(和)先輩	3
18	藤枝 くん	3	田村 さん	1	中島 先輩	3
19	大武 くん	2	上岡 さん	1	加藤(愛)先輩	1
20	竹中 くん	2			新井 先輩	5
21	齊藤 くん	1			本城 先輩	3
22	岸波 くん	1			渡邊 先輩	3
23	花家 くん	1			権田(陽)先輩	3
24	加藤 くん	1			福島 先輩	2
25	品田 くん	1			真砂(歩)先輩	2
26					真砂(智)先輩	1
27					西 先輩	3
		162		128		178

468

間違いがありましたらごめんなさい<m(\_)\_m>



# 第38回 鳳翔剣大会

平成30年1月21日(日)  
@ 埼玉大学 総合体育館

今年の鳳翔剣大会は、寒稽古後の21日(日)に開催されました。  
インフルエンザが流行し、寒稽古を毎朝がんばったけど出場できなかった選手もいました。  
勝ったこと負けたことをこれからの稽古に生かしていきましょう。

## 試合結果

### 小学生低学年の部

- 秋本くん ▲ — (メ)メメメ 池田(緑ノ風) 堂々とした戦いぶり。対外試合初戦であるが  
気合いも出ており幾度も堂々と相面にいった。  
惜しい面があった。
- 宮島さん メメ — (メ)メメメ 宮島(大宮輝誠剣) 相手に先に攻められて面を打たれてしまった。  
自分から攻めた技をもっと出そう。  
2本取った面は良かった。

### 小学生高学年の部

- 藤枝くん (〇〇) ▲ — (コ)メ 関根(妙武館高麗道場) 不戦勝  
関原(朝霞市剣道連盟) 初めての試合だったが堂々と自分のペースで打ち込めて  
いた。まだまだこれから！頑張れ！
- 林くん ▲ — (判定) 山根(緑ノ風) 間合いが取れずどうしてよいか分からないまま終わって  
しまった。次につながるよう考えよう。
- 寺島くん — (メ)メメ 丸山(埼玉一心館道場) 良く攻めていたが1本取られた後受け身になってしまった。  
次につなげよう。
- 橋本くん — (メ) 小柴(川口警察署ひまわり) 攻めていて惜しい技がいくつかあった。  
次、頑張ろう！
- 武笠くん (〇〇) — (コ)メ 逸見(荒川剣友会) 不戦勝  
深川(埼玉一心館道場) よく攻めていたが少し間合いが近い。
- 渡邊くん — (判定) 佐藤(川口北) 惜しい胴もあったが決め手に欠いた。  
勝てない相手ではなかったと思う。判定1-2、  
自分にどうして旗が上がらなかったか考えよう。
- 佐藤くん (メ) — (判定) 阿蘇(朝霞市剣道連盟) 落ち着いて面が決まった。  
矢尾(荒川剣友会) 攻めていたが判定負け。  
勝てず足りなかったものを次につなげてほしいです。
- 飯田くん (〇〇) (メ)メメ (メ)判定 — (メ) 中落(剣道希絆館) 不戦勝  
高橋(荒川剣友会) 綺麗な面が3本決まった。  
伊藤(朝霞市剣連) 落ち着いて1本取り返した。  
矢尾(荒川剣友会) 攻めていたが決め手に欠いた。
- 住屋くん — (メ)メメ 片山(北浦和やどかり) 強い相手ではあるが実力差はないと思う。  
もっと積極的に攻めよう。

## 中学生男子の部

岡部先輩	(反)	— ▲▲	志土(上大久保中)	1本目は引き面を追ってきたところをカウンターで面。安心して見ることができました。後半は少してこずっていましたが全体的に押していて相手の反則につながりました。実質的な同門対決。初太刀で1本目の面。格の違いを見せつけましたが、その後は膠舞状態に。中断後、気持ちを切り替えて2本目の面。	
	(メ)	—	内村(本太中)	強い相手に善戦しました。頑張っしてのいでいきましたがちょっと気を抜いたところをしかけられました。	
	(メ)	—	森(高麗中)	2本目は打った後。まだ1年生。来年が楽しみです。相手を崩して技を出すことができず判定負け。	
峯先輩		—	(判定)	鈴木(田島中)	遠間からの面も良いが、間合いをつめてからの攻めがあれば勝っていたと思う。今後に期待!
長谷部先輩		—	(メ)	太幡(荒川剣友会)	初太刀の出小手で良い流れをつくりかけたが、小手にいくところを面でのられた。惜しい相面もありましたが残念。
村松先輩	(コ)	—	宮野(越谷南中)	初戦ながら体が動いており小手を決めて1本勝ち。	
		—	(判定)	川口(土合中)	遠間からの攻めが多く、相手を崩して攻めるところがもう少しだった。

## 高校生男子の部

本城先輩	(メ)	—	宮腰(市立浦和)	上段からの面が決まった。	
	(メ)	—	(コ)	青澤(市立川口)	果敢に攻めていましたが、一歩及ばず。

## 【出場選手の感想】

秋本くん	初めての試合できんちょうしました。押されて、場外に出ていたのに気づきませんでした。いっぱい取られて悔しいです。強くなりたいので、たくさん練習します。
宮島さん	さい玉大学のほうしょうけん大会に出場させていただき、ありがとうございました。わたしは一回せんでまけてしまいました。でも2本メンを取れたのでうれしかったです。その2本のメンは、わたしが先にせめていたからとれたのだと思います。相手に取られてしまったメンは、相手の方が先にせめていたからだと思っています。これからは自分からこわがらないで先にせめて打てるように、しっかり練習して、次の試合にいかしていきたいと思いました。
寺島くん	試合に出られてよかったです。ありがとうございました。もっと前に出られるようにこれから練習していきます。一緒に剣道ができる仲間がいることが嬉しいです。
橋本くん	鳳翔剣大会に参加させていただきありがとうございました。試合では、声が足りなかったと思いました。次回の試合に反省を活かしたいと思います。
林くん	負けて悔しかった。打った後はすばやく抜けて残心をとること。自分から後ろに下がらないようにして、前に攻めたい。
藤枝くん	今回の鳳翔剣大会で、初めての公式試合だったけれど、不戦勝で始まったので、2回戦目では、不利な試合でした。次の大会では、ちゃんと勝ちたいです。
飯田(隼)くん	この度は、鳳翔剣大会に出場させていただき、ありがとうございました。僕は、初めて4回戦まで進むことが出来ました。普段、強い選手と自分とは何が違うのか、ということを考えながら、稽古しています。実際、全てなのですが、今回は特に足幅が課題だと思いました。これからも自分に必要なことは何なのか意識して稽古していきたいと思います。今回、午後からの試合の先輩方が、声をかけてくださってとても嬉しかったです。先生、先輩方、保護者の方々、ありがとうございました。
住屋くん	鳳翔剣大会に出させていただきありがとうございました。結果は負けてしまいましたが、自分の力を出しきれたので、良かったです。次は、勝ちたいです。稽古宜しくお願いします。

- 佐藤くん 1月21日に行われた鳳翔剣大会に出させていただきます、ありがとうございました。この試合は、2回戦目に矢尾君という子とあたりました。自分も相手も1本も取れませんでした、ぼくは判定で負けてしまいました。矢尾君の試合の結果を見ていくと3位でした。ビデオで見直してみても、相手の方が打ち、攻め、竹刀の使い方が上手でした。この負けから分かったことをこれからに生かしていきたいと思います。
- 武笠くん 一回戦で面を三本取られて敗退してしまいました。寒稽古の成果を普段の稽古で出していきます。ご指導していただいた先生方、応援していただいた保護者の皆様ありがとうございました。
- 渡邊くん 今回は鳳翔剣大会に出場させていただきますありがとうございます。初戦、川口北の佐藤さんとあたり、判定負けしてしまいました。敗因は二つあり、一つは攻めるところで攻めきれず、打ち切れなかったことだと思います。もう一つは、引き技が多かったことだと思います。小学生のうちに駒剣として出場できる試合は3月の錬成会が最後になるので、今回の経験を次の試合に生かせるよう、日々の稽古で取り組んでいきたいです。
- 長谷部先輩 この度は鳳翔剣大会に出場させていただきます、ありがとうございました。残念ながら、勝ち上がれませんでした、今回の試合で得たことを今後の稽古に活かしていきたいです。
- 村松先輩 今回は鳳翔剣大会に出場させていただきますありがとうございます。自分でたくさんの課題や稽古不足が見つかった試合でした。見つかった課題を中学の稽古で修正し、同じことをしないようにして学総に向けて頑張っていきたいです。
- 岡部先輩 今回の試合での反省点はいくつかあります1点目は、攻めが単調になってしまったことです。1つの技に頼ってしまったり、技を打つタイミングが決まってしまうので、技のバリエーションや間合への入り方を増やせるように意識したいです。2点目は、一回一回の足の準備に時間がかかってしまうことです。振り返った後の攻めが遅くなってしまいがちなので、直せるように頑張りたいです。
- 峯先輩 今回は駒剣から出させていただきます、本当にありがとうございました。試合の序盤は、わりと自分の剣道が出来ていたと思うのですが、だんだん焦りができて、うまく自分の剣道ができなくなってしまいました。焦ってばかりで、なかなかいい打ちができず、結局判定で負けてしまいました。今回は負けてしまったけど、負けたことを、これからの公式戦や錬成会、日々の稽古のなかで活かしていきたいです。OBながら駒剣で試合にださせていただきます、ありがとうございました。今年も時間があれば、駒剣の稽古にも参加していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

## etc日記



え? 「あひあひ」じゃない?

